

ふじえだ ^{イクジィ}育G 応援プロジェクト その19

地域で広げよう! 孫育ての和

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。
そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。
このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

育Gへ孫育て アドバイス

孫とかかわるコツ 今の遊び、昔の遊び【新聞遊び】

「孫と何をして遊んだらいいですか?」祖父母の皆さんからよくいただく質問です。私のおすすめは「新聞遊び」です。というのも、パパママ世代は、新聞をとっていない家庭も多く、自宅に新聞紙そのものがないことも。何でも口に入れてしまう2歳未満は注意が必要ですが、新聞紙をビリビリ破る、破った新聞紙を投げ上げるだけでも、子どもたちは大はしゃぎ! 後片付けは、くるくる丸めて、玉入れのように段ボール箱や紙袋に入れてもらえば、そのままゴミに出

せます。また、剣作りもおすすりめです。堅い剣はどうしたらできるのか。何度も作る中で、しっかり巻けるようになっていきます。

多少、手は黒くなりますが、手軽に遊べる物として、ぜひご活用ください。兜などを折ってあげるのも、いいですね。



イラスト:Hina

アドバイザー

ぼうだ あきこ

NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

地元の育G リレーコラム

世界を見て、視野を広げて欲しい



今月の育G

永井 昌博さん (54歳)

職業: 会社員

住所: 市内藤枝5丁目

孫 : 男の子(3歳)、女の子(0歳)

初めて孫と対面したときは、月並みではあるが「本当にかわいい。目の中に入れても痛くない」と本気で思った。誕生日でもクリスマスでもない、何でもない時におもちゃやお菓子を買ってあげてしまうほど甘やかしているが、「ありがとう」「おはよう」といった挨拶だけはしっかりするように言い聞かせている。視線を合わせて一緒に遊んでいると自分自身の気付きもあり、とても勉強になる。これからの時代を生きる孫には世界を見て、視野を広げて欲しいと願っている。もしかしたら、気付かないうちに自分ができなかった夢を託しているのかも知れない…。

自慢の孫フォト



祐一郎(ゆういちろう)くん、琴葉(ことば)ちゃん

藤枝市からの子育て情報



子ども・子育て支援サイト&スマートフォンアプリ
「ママフレ藤枝」をご利用ください

「ママフレ藤枝」では、子育て関連の行政サービスや施設情報等の閲覧ができます。アプリでは電子母子健康手帳や予防接種記録、プッシュ通知機能のほか、地図上で教育・保育施設や「あかちゃん駅」を検索できる施設マップなど便利な機能が満載です。ぜひ、ご利用ください。

ママフレ藤枝
webページ



感想募集中



こちらのQRコードへ
アクセスしご覧いただいた
感想をお寄せください♪